

認知症と ともに生きる



国によると、2025年には、65歳以上の5人に1人が認知症になると見込まれており、家族などが認知症になることなどを含めると、多くの人にとって身近なことになっていきます。

認知症への社会の理解を深め、認知症があってもなくても、同じ社会の一員として活躍できる社会をともにつくるのが大切です。

圏地域包括ケア推進課 ☎245-5267 FAX245-5293

認知症の人の声を届ける認知症本人ミーティング

認知症本人ミーティングは、認知症の人が集い、本人同士が自らの体験や希望、必要としていることを語り合い、自分たちのこれからのよりよい暮らしや暮らしやすい地域のあり方などを一緒に話し合う場です。

話し合いで出された、本人だからこそその気付きや意見を地域などに伝えていきます。

認知症とは

認知症とは、記憶力や判断力の障害により、生活に支障を来す状態になることです。

早期に発見し適切な治療などを行うことで、進行を遅らせたり、症状を軽減できたりする場合があります。

本人ミーティングの目的

認知症の人の視点を重視した地域づくりを具体的に進めていくための方法です。

本人

- 本人同士が出会い、つながる。
- 地域づくりに参加する。
- 一人ひとりが生きがいをもち、よりよく暮らしていくきっかけになる。



地域の人・行政など

- 本人の声を聴き、本人の体験や気持ち、必要としていることなどの理解を深める。
- 本人視点に立って、よりよい地域づくりを一緒に進める。

認知症本人ミーティングを開催します

自分のことや認知症の家族のことを語り合ってみませんか。

日時 3月9日(水)13:30~15:30

会場 中央コミュニティセンター

対象 認知症の方と家族

定員 15人

申込方法 2月25日(金)必着。はがきに必要事項(12面)を明記して、〒260-8722千葉市役所地域包括ケア推進課へ。FAXも可。

認知症の人からのメッセージ

認知症本人ミーティングなどで寄せられた、認知症の人の声をご紹介します。

70代、認知症歴3年

地域の人が気にかけてくれるから1人暮らしを続けられています。毎日楽しく生活できるのも、みんなのおかげです。

70代、認知症歴6年

認知症になって仲間に出会えた。これからの人生をもっと楽しみたいです。

60代、認知症歴1年

認知症と診断されて、自分の行くところがなくなってしまったと感じた。自分の居場所を増やしたい。

60代、認知症歴10年

活動しないと脳の機能が落ちるから、脳を休ませないために自分はいろいろなことに挑戦したい。一度きりの人生だから楽しみたい。

60代、認知症歴1年

若年性認知症を受け入れて、できること、やってみることを増やしていきたいし、家族以外の人とも積極的に付き合っていきたい。

60代、認知症歴1年

今の楽しみは、短歌を詠むことと将棋を指すこと。子どもたちに将棋を教えることが生きがいです。

認知症とともに生きる社会に向けて

市は、認知症の有無にかかわらず全ての人が、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会を目指します。実現には、全ての人が、認知症を理解し、応援することが必要です。

千葉市認知症ナビ

認知症に関する知識や相談窓口、研修会などの情報を掲載しています。ぜひ、ご覧ください。

千葉市 認知症ナビ

認知症カフェ

認知症の人や家族、地域住民や専門職など、さまざまな人が気軽に集い、お茶を飲みながら交流する場です。市内に32カ所あります。

場所や活動日など詳しくは、

千葉市 認知症カフェ



高齢者保護情報共有サービス

衣服などに貼られたラベルの2次元コードを読み取ると、保護の情報が家族などにメールで送られ、インターネット上の伝言サービスで情報共有できるサービスです。個人情報開示されません。

困っている様子が高齢者がこのラベルを着けていたら、保護をした上でコードを読み取るか、警察などへご連絡ください。詳しくは、千葉市 高齢者保護

